

令和2年度研究・教育活動報告

アーウィン マーク

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)

The Productivity of Apophony in Japanese: An Experimental Approach (Graduate School of Social & Cultural Systems at Yamagata University 17: 41-52)

- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

相沢 直樹

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

@基盤教育

ロシア語 I (2), ロシア語 II (2)

@学部専門科目

ロシア文化論, グローバル文学概論 (オムニバス), ロシア文化演習, ロシア語講読, 時事ロシア語

@学会

日本ロシア文学会編集委員会 (委員長)

日本ロシア文学会理事

日本比較文学会学会賞選考委員

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

赤倉 泉

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

基盤: 中国語

専門：現代中国論，現代中国論演習，時事中国語，留学事前演習

大学院：現代中国政治特演，現代中国政治特論

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究：毛沢東時代の中国で政治的レッテルをどのように利用したか，その後名誉回復された人々と現在の民主化要求運動との関連などについて研究した。何も成果を出せなかったので次年度は頑張りたい。

教育：前期はリモート，後期は対面とリモートによって授業を行い，学生の反応を把握できないながらもコメントペーパーとそれへの回答という形で，できるだけコミュニケーションをとるよう努めた。

阿部 晃士

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

阿部晃士，2021，「災害時のネットワークと災害への備え：山形大学近隣小学校の保護者と大学生を対象とした調査より」『山形大学人文社会科学部研究年報』18：151-161。

小松 洋・阿部晃士・篠木幹子，2021，「回答者視点からみた社会調査：調査の有効性と懸念および協力しやすさに着目して」『社会と調査』26：85-89。

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

東日本大震災の後，2011年に開始した共同研究（現在は科研費基盤研究（C））では，震災から10年となり，2021年1月にパネル調査の5回目（最終回）を実施した。

(5) 教育，地域連携等の活動

（担当授業）

- 現代社会学演習，卒業論文（人間文化学科1名，地域公共政策コース8名），社会調査法基礎，現代社会学，社会学概論，公共政策・地域課題実践演習 A4，公共政策・地域課題実践演習 B4，総合講座 I（地域公共政策コース），社会学入門（基盤，社会学）（以上，山形大学）
- 計量社会学特論 I，計量社会学特別演習（山形大学大学院）
- 社会統計学（新潟大学）
- 社会学（米沢栄養大学）
- 人間関係論（山形医療技術専門学校）

（地域連携）

山形県立保健医療大学倫理委員会委員（2020年4月～）

山形県統計専門研修（「アンケート調査の企画・設計」及び「アンケート結果の集計・分析・公表」，2020年9月）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

天野 尚樹

(1) 研究成果（著書）

岩下明裕編著『北東アジアの地政治』（北海道大学出版会，2021年，共著）

- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動

基盤教育科目：ロシア語 I，ロシア語 II

専門科目：極東地域論，極東地域論演習，ロシア語購読，グローバル・プロブレマティーク基礎演習

大学院教育：北東アジア文化論特論

卒業論文指導主担当 1 件，修士論文指導主担当 1 件

出張講義 3 件（磐城高校，長井高校，酒田西高校）

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

生田 慶穂

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

科研費（研究活動スタート支援）「室町期における連歌表現と和歌表現の交錯・連環」2019～2020年度

- (5) 教育，地域連携等の活動

担当授業：くずし字入門，日本文学基礎演習，日本古代中世文学演習，日本古代中世文学特殊講義，課題演習（書物文化環境），日本古代中世文化論特論，日本古代中世文化論特別演習

地域連携：「連歌の何がおもしろい？」，最上義光歴史館歴史講座「義光塾」，2020年12月7日

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナ禍のさなかの着任であった。研究については積み残した課題が多いが，最上義光歴史館と協力関係を築くことができた。

池田 弘乃

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）

「マイノリティと個人の尊厳：LGBTという言葉から考える」，『東洋学術研究』59巻1号59-86頁（2020年5月）

結婚の脱特権化を展開する〔書評〕エリザベス・ブレイク『最小の結婚』

『図書新聞』3445号（2020年4月25日号）

「論争する法哲学（書評）平等は自律に依存するか：森悠一郎『関係の対等性と平等』」，『法哲学年報 2019』137-141頁（2020年10月）

「読書案内コラム『尊厳と身分——憲法的思惟と「日本」という問題』蟻川恒正」，加藤泰史・

小倉記蔵・小島毅編『東アジアの尊厳概念』（法政大学出版局，2021年3月）149-158頁

「読書案内コラム『「尊厳ある社会」に向けた法の貢献——社会法とジェンダー法の協働』島田陽一・三成美保・米津孝司・菅野淑子編」，前掲加藤他編168-176頁

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

授業：法哲学1，法哲学2，法哲学演習，私法入門，専門基礎演習，「人間の性と現代の法」（基盤）

学部教育委員・社会系3コース教務委員

非常勤講師：東北医科薬科大学，東北大学法科大学院

地域連携：山形市男女共同参画センター講座講師，東陵高校出張講義（オンライン），都立白鷗高校付属中学校出張講義，山形県医療審議会委員（2016年10月1日～継続中），山形県建築士審査会委員（2018年7月1日～継続中），生活やものづくりの学びネットワーク山形研修会講師，山形市内のLGBTQ＋当事者団体と連携しつつ不定期で多様な性についての懇談会「カラフルCafé」を開催中（オンラインと対面を併用）。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

池田 光則

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育，地域連携等の活動

(a) 担当授業

- 学部専門教育科目：言語学概論，言語学特殊講義 a，ラテン語1，ラテン語2
- 基盤共通教育科目：言語学概論（言語学），言語学とその周辺領域（言語学），英語
- 大学院：言語学特論，言語学特別演習

(b) 卒業論文指導

- SNS上におけるフランス語の若者ことば

(c) 出張講義等

- 山形県立山形中央高等学校（2020年10月14日）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

石澤 靖典

(1) 研究成果（著書）

〔編著〕石澤靖典・森岡卓司編『大正・昭和期における東北の写真文化』（山形大学人文社会科学部叢書13），山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所，2021年3月

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果 (その他)

科研費 基盤研究 C「フィレンツェ美術にみるダンテ『神曲』の視覚化－彼岸の測量と地理学を中心に」研究代表, 2019年-2021年 (事業期間3年のうち2年目)

(5) 教育, 地域連携等の活動

〔担当授業〕

○学部専門科目: 芸術文化概論, 表象文化概論, 美術史特殊講義 a, 芸術文化基礎演習, 芸術文化演習 a, 芸術文化特殊講義 a, 課題演習 (芸術文化), 芸術文化演習 b, 人間文化入門総合講義

○大学院科目: 美学・芸術史特論 I

○基盤教育科目: 西洋美術に見る生と死 (人間を考える), 西洋美術鑑賞入門

〔卒論指導〕

8名担当 (ラファエロ《サン・シストの聖母》—幻視空間にみるマリア信仰—, ゴヤ《1808年5月3日》について—作品が持つメディアの役割—, ジョン・エヴァレット・ミレイ《オフィーリア》に見られる復古主義, ジョン・エヴァレット・ミレイのファンシー・ピクチャーにおける大衆的イメージ, ゴッホ《星月夜》に見る色彩と宗教性, マーク・ロスコと空間, ハンス・リヒター『リズム』シリーズの思想—形態と運動に関する一考察—, ベネトン広告に見る差異の表象)

〔学外委員〕

山形文化遺産活用事業実行委員会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動としては, これまで附属映像文化研究所を中心に, 科研費基盤 B (森岡卓司研究代表, 16H03364) をもとに推進してきた研究プログラム「東北地方における写真文化の形成過程と視覚資料の調査研究」の最終年度にあたるため, 5年間の研究活動の総括として成果報告書『大正・昭和期における東北の写真文化』(山形大学人文社会科学部叢書13)を編集・出版した。一方, 科研費 基盤研究 C「フィレンツェ美術にみるダンテ『神曲』の視覚化－彼岸の測量と地理学を中心に」の研究課題については, フィレンツェ, ローマでの現地調査を予定していたものの, コロナ・ウイルス感染拡大にともなう海外出入国の困難さから, 多くを次年度に持ち越すこととなった。

教育活動では, コロナ・ウイルスのため多くの授業がリモートに切り替わる中, 慣れない指導法への適応に多くの時間を割くこととなった。とはいえ, オンラインを積極活用した新たな授業形式を採用する機会にもなったので, 今後の指導法改善に生かしていきたい。

和泉田 保一

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

- 2020年度地方自治学会・研究会報告「地方自治体の芸術祭への関与についての行政法的検討—『表現の不自由展・その後』を題材にして—」(令和2年11月22日, リモート (zoom)) (地方自治叢書第34号 (敬文社・2021年) 掲載予定)

- 2020年度日本エネルギー法研究所・原子力の安全性に係る法的論点検討班第15回研究会報告「イギリスの地層処分地選定に係る合意形成モデル（土地利用規制の観点から）」（令和3年1月19日、リモート（Webex））

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育、地域連携等の活動

• 担当授業

行政法1，行政法2，行政法3，行政法4，行政法演習，総合講座Ⅱ（「行政法」），基盤共通教育基幹科目「市民の共生と行政」（共生を考える）

• 地域連携活動

[審議会等委員]

新庄市情報公開制度検討委員会のアドバイザー，2020年10月～現在に至る）

山形県消防協会第三者委員会委員（2020年2月～現在に至る）

山形県公文書管理委員会委員（R1年12月～）

山形県介護保険審査会委員（H31年4月～）

山形県退職手当審査会委員（H30年11月）

山形県公文書管理に関する条例制定検討委員会委員（H30年11月～翌3月）

全国健康保険協会山形支部評議委員（議長）（H30年10月～R2年9月）

鶴岡市新文化会館建設に関する第三者調査・検証委員（H30年5月～11月）

山形大学人文社会科学部倫理審査会委員（H30年4月～）

山形市都市振興公社評議員（継続）

山形県情報公開・個人情報保護審査会委員（継続）

山形県議会情報公開・個人情報保護審査会委員（継続）

山形大学 COI 社会システム研究委員会委員（継続）

山形市行政不服審査会委員（継続）

上山市行政不服審査会委員（継続）

上山市情報公開・個人情報保護審査会委員（継続）

長井市行政不服審査会委員（継続）

西置賜行政組合不服審査会委員（継続）

[外部研修講師]

東北自治研修所職員研修「行政法」（2020年度）

国土交通省北陸地方整備局職員研修「法律」（7月）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

新型コロナウイルスの蔓延に起因して，研究，教育活動とも多大な影響を受けた。

研究活動については，特に，Numoの2020-2021年度受託研究「[「パートナーシップ型」合意形成モデルによる地層処分事業における考慮要素の特定をめぐる法的研究」（研究代表者友岡史仁 日本大学教授）の連携研究者として，英国カンブリア州に現地調査に行く予定であったところ，断念せざるをえなくなった。また，関連する研究報告や，地方自治学会の研究報告が遠隔開催となった。

また、研究活動の成果としては学会・研究会報告のみであったが、いずれについても翌年度(2021年度)に論文として公表することになっている。

教育活動についても、多くの授業を zoom による遠隔実施に切り替えざるを得なくなった。その中で、対面授業では難しかった手法(内容に関連する Web 上のリンクを画面上に映し出すこと等)が可能になったことは収穫でもある。

また、1年生向けの基幹科目でブレイクアウトセッションを実施したことについて、高く評価する学生がいたことを最近知った。

伊藤 晶文

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

伊藤晶文・佐藤菜々美(2020):2011年東北地方太平洋沖地震津波後に宮城県蒲生干潟の潟湖底・干潟堆積物から見出された珪藻群集。季刊地理学,72,122-130。

(3) 研究成果(学会発表)

佐々木明彦・伊藤晶文(2020):14C年代とテフクロクロノロジーからみた鳥海火山東鳥海火山体の形成年代。JpGU-AGU Joint Meeting 2020: Virtual.

(4) 研究成果(その他)

(5) 教育、地域連携等の活動

[担当授業]

環境動態概論, 環境動態論特殊講義 a, 環境動態論基礎演習, 環境動態論演習, 課題演習(環境動態論), 卒論演習1, 人間文化入門総合講義(分担), 地形と災害(共生を考える)

[地域貢献]

宮城県環境影響評価技術審査会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

今村 真央

(1) 研究成果(著書)

「性の多様性を表す語彙:少数派の名付けと名乗り」『東南アジアと「LGBT」の政治——性的少数者をめぐって何が争われているか』明石出版(共著)

(2) 研究成果(論文)

(3) 研究成果(学会発表)

「ジンポーの宗教的変遷」(東京外国語大学ジンポー語講座年次報告会, 9月)

"Comment on the Tradition of Protest in Myanmar" ("Contentious Politics in Asia"国際ワークショップ, Varieties of Democracy 主催, 11月)

(4) 研究成果(その他)

書評: "The hidden history of Burma: Race, capitalism, and the crisis of democracy in the 21st century By Thant Myint-U. The Journal of Asian Studies, May 2021, pp. 528 - 531

DOI: <https://doi.org/10.1017/S0021911821000504>

追憶文：「ジョン・オケル先生を追憶して」東南アジア学会会報2020年11月（第113号）p.18-19.

(5) 教育，地域連携等の活動

授業：基盤（人間を考える），グローバル・プロブレマティーク基礎演習，東南アジア地域論講義，東南アジア地域論演習，国際協力論講義，国際協力論演習，東南アジア文化論特論，東南アジア文化論特別演習
卒論指導担当 正6名

(6) 研究・教育活動に関するコメント

2016年に発表した論文の中国語訳が『南洋資料叢』という学術雑誌に掲載された。（「东南亚山地研究能否成为区域研究？」『南洋資料叢』2020年第4期，p69-76.）

岩田 浩太郎

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

〔外部資金〕

- 科学研究費補助金・基盤研究（C）「日本近世特産物の生産・流通・消費システムの展開と特徴－紅花を事例に－」（2020～2023年度）合計4,030,000円（直接経費3,100,000円，間接経費930,000円）

(5) 教育，地域連携等の活動

〔担当授業科目〕

- 基盤教育科目：基幹科目「生存と共生の歴史（共生を考える）」，基幹科目「山形と紅花の歴史（山形から考える）」
- 専門教育科目：日本経済史1・2，地域経済史，日本経済史演習
- 大学院教育科目：日本近世史特論I（外国人特別聴講生）
- アドバイザー担当教員（1年生，3・4年生）

〔委員会活動，その他〕

- 全学：一般入試後期小論文問題作成代表者（人文社会科学部社会系3コース）
- 学部：グローバル経済史教員選考委員会委員（主査），経営学教員選考委員会委員，経済・マネジメントコース人事調整委員，やまがた地域社会研究所所員ほか
- 大学院：運営委員（文化システム専攻）・入試部会委員（新研究科入試準備，共通面接・口述試験担当者など）

〔社会活動〕

- 山形大学職員組合人文支部長（2019年5月～2020年5月）
- 財団法人三浦新七博士記念会・三浦記念賞選考審査会審査員（2012年4月～継続中）
- 山形県中山町旧柏倉家住宅保存活用会議委員（2021年3月～継続中）
- 山形県中山町柏倉家文書目録整理員（2018年2月～継続中）
- 山形県中山町地域起こし協力隊員の展示企画への協力

- 山形県中山町長崎地区の旧家文書調査依頼への対応
- 山形県中山町岡地区の旧家文書調査及び岡観音堂の棟札調査依頼への対応(棟札類墨書の解説・解説など)
- NPO 法人黒塚の里山保存会顧問 (2020年8月～継続中, 山形県中山町)
- 山形県白鷹町荒砥清水屋惣左衛門家及び白鷹町からの調査依頼への対応(清水屋文書の解説・考察など)
- 山形県立博物館特別企画展への協力
- 山形県河北町ひなカレッジ企画への協力
- ウィーンのローレツ(山形市済生館の創設期医師)研究者からの調査依頼への対応
- 山形商工会議所『商工月報』連載企画「日本一の紅花商人 長谷川家とその時代」及び「キラリ山形」への協力(助言・資料提供, 原稿添削チェックなど)
- 奥羽史料調査会世話人(2002年～継続中)
- 宮城県村田町伝統的建造物群保存地区保存審議会委員(2013年12月～継続中)
- 宮城県村田町大沼正七家文書目録整理員(2016年4月～継続中)
- 宮城県村田町の村田町歴史みらい館への協力(藍関係史料の調査・解説及び蔵の町並み旧家案内看板文案の添削)
- 新潟県新潟市の北方文化博物館への協力(千町歩地主伊藤文吉家文書の調査及び伊藤家創設及び歴代の関係史料の解説・解説など)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

2020年度はコロナ禍により研究・教育活動のあり方が従来とは大きく変化した。

教育活動では、新型コロナ感染予防対策の全学方針で原則オンライン授業とされたことにもとづき、演習はzoomで、基盤教育科目及び演習以外の専門科目は全てオンデマンド方式で実施した。演習では例年は現地古文書調査にもとづく特定地域のゼミ共同研究をおこなっていたが、2020年度は指定したテキストの輪読発表・議論と卒業研究(個人2単位)指導を実施した。ゼミの4年生6名のなかにはコロナ禍により実家に帰った者もあり、卒研のテーマ選択に際しては地元の素材を含めて時代・地域ともに自由とした。その結果、大正期のジェンダー研究や津軽藩の蝦夷地警衛など多様なテーマ・時代・地域の卒研6本が提出された。コロナ禍のなかの就活だったが6名ともに就職でき巣立っていった。演習以外の授業ではWebClassに講義本文・プリント資料などを掲載し受講生から毎回感想意見を書いたメモを提出してもらう方式としたため、各授業の講義資料づくりに追われた1年となった。

研究活動もコロナ禍のため一変した。2020年度は採択された科研費・基盤研究(C)の開始年であったが予定していた全国各地の現地調査はできず、専ら山形県内での一部調査と古文書一時借用が可能な場合には大学で撮影作業をおこなうことに専念した。山形県中山町の旧柏倉家住宅(重要文化財)の活用保存に関わっては例年通りに歴史文化財に関する調査や助言を町役場職員・地域起こし協力隊員・NPOと連携しながら実施できた。

社会活動では山形県立図書館から依頼された特別企画展「紅と藍」の3回連続講座を2020年11月に予定していたがコロナ禍のため中止となるなど、講演や報告会が実施できなかった。山形商工会議所や北方文化博物館(新潟市)、宮城県村田町などからの諸依頼にはリモートで適宜応え

ることができた。

大学運営では、採用人事の企画や昇任人事審査・報告に携わった。一般入試後期の小論文問題作成責任者として問題作成・採点業務を統括した。さらに、大学院運営委員として新研究科入試の制度設計と準備を補佐し、また3度の新研究科入試において新設された共通面接・口述試験担当者の任を果たした。

宇津 まり子

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動

担当授業：グローバル・スタディーズ基礎講義，英米文化演習，コミュニケーション英語（リスニング上級），コミュニケーション英語（リスニング中級），英語（C再履修），英語（R再履修），総合英語（再履修），コミュニケーション英語（リスニング再履修），コミュニケーション英語（スピーキング再履修），コミュニケーション英語（ライティング）

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

大久保 清朗

- (1) 研究成果（著書）

アンドレ・バザン研究会『アンドレ・バザン研究』第5号，山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所（代表）。

- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

- ・科研費（基盤研究B）「アンドレ・バザンの映画批評の総合的再検討」（代表）2017年-2021年（期間5年間の4年目）
- ・解説「ロマン・ポランスキー60年代初期傑作 Blu-ray-Box（『水の中のナイフ』『反撥』『袋小路』）」，2020年4月
- ・評論「いと小さき者たちに向けられた眼差し——ダルデンヌ兄弟小論」，『キネマ旬報』2020年6月下旬号（1840号），55頁
- ・評論「2000年代外国映画ベスト・テン」，『キネマ旬報』2020年7月上旬号（1841号），24頁
- ・評論「巨匠たちの洗練と革新，そして幕引き——00年代に遺作を撮った巨匠たち／老いてもなお作品を撮った巨匠たち」，『キネマ旬報』2020年7月上旬号（1841号），50-51頁
- ・「孤独と受容——イザベル・ユペール論」，『キネマ旬報』2020年8月下旬号（1846号），62-63頁
- ・「胸苦しい生と死の希求——『プレスレス』」，『キネマ旬報』2020年12月下旬号（1855号），38-39頁

- コラム「絵空事と荒んだ現実——『三匹荒野を行く』」, 『山形新聞』2020年4月5日
- コラム「記憶に共鳴する音楽——『5つの銅貨』」, 『山形新聞』2020年5月24日
- コラム「本当でないホームズ——『ヤング・シャーロック ピラミッドの謎』」, 『山形新聞』2020年7月12日
- コラム「真の自己に「出会う」——『インナースペース』」, 『山形新聞』2020年8月30日
- コラム「色あせない優しさ——『ウィロー』」, 『山形新聞』2020年10月18日
- コラム「灰に始まり, 灰に終わる——『ファミリービジネス』」, 『山形新聞』2020年12月6日
- コラム「謎の残香が漂う名優——『2010年』」, 『山形新聞』2021年2月7日
- コラム「場所の記憶とともに——『キングコング』(1976年版)」, 『山形新聞』2021年3月28日
- レビュー『デッド・ドント・ダイ』, 『朝日新聞』2020年4月3日
- レビュー『ダーティハリー4』, 『朝日新聞』2020年4月17日
- レビュー『ジャッキー・ブラウン』, 『朝日新聞』2020年5月8日
- レビュー『Playback』, 『朝日新聞』2020年5月29日
- レビュー『A GHOST STORY / ア・ゴースト・ストーリー』, 『朝日新聞』2020年6月5日
- レビュー『ブリット=マリーの幸せなひとりだち』, 『朝日新聞』2020年7月10日
- レビュー『ポルトガル, 夏の終わり』, 『朝日新聞』2020年8月14日
- レビュー『ブックスマート 卒業前夜のパーティーデビュー』, 『朝日新聞』2020年8月21日
- レビュー『mid90s ミッドナインティーズ』, 『朝日新聞』2020年9月4日
- レビュー『セノータ』, 『朝日新聞』2020年9月18日
- レビュー『マーティン・エデン』, 『朝日新聞』2020年9月25日
- レビュー『オン・ザ・ロック』, 『朝日新聞』2020年10月2日
- レビュー『ウルフウォーカー』, 『朝日新聞』2020年10月30日
- レビュー『おらおらでひとりいぐも』, 『朝日新聞』2020年11月6日
- レビュー『Mank/ マンク』, 『朝日新聞』2020年12月11日
- レビュー『ハッピー・バースデー 家族のいる時間』, 『朝日新聞』2021年1月8日
- レビュー『わたしの叔父さん』, 『朝日新聞』2021年2月5日
- レビュー『あのこは貴族』, 『朝日新聞』2021年2月19日
- レビュー『まともじゃないのは君も一緒』, 『朝日新聞』2021年3月19日
- レビュー「安易に理解しない勇気と倫理」, 『婦人之友』第114巻第6号, 2020年6月号(5月刊行) 92-93頁
- レビュー「峻厳さの中に流れるユーモア」, 『婦人之友』第114巻第8号, 2020年8月号(7月刊行) 82-83頁
- レビュー「映画化でもたらされる新たな生」, 『婦人之友』第114巻第10号, 2020年10月号(9月刊行) 92-93頁
- レビュー「世界の声に耳をすまして」, 『婦人之友』第114巻第12号, 2020年12月号(11月刊行), 94-95頁
- レビュー「異国から吹く小津映画の風」, 『婦人之友』第115巻第1号, 2021年1月号(2020年12月刊行), 96-97頁

- ・レビュー「生のうつろいとらえる意志」,『婦人之友』第115巻第3号,2021年3月号(2月刊行),78-79頁

- ・『デカローグ』パンフレット(2021年4月10日公開)

(5) 教育, 地域連携等の活動

- ・基盤共通科目で「フランス語Ⅰ」「フランス語Ⅱ」を担当
- ・専門科目で「映像学概論」「課題演習(映像学)」「フランス語講読」「留学事前演習」「表象文化演習」を担当。
- ・卒業論文指導で12名の学生を指導(テーマは吉屋信子, ジョン・ウォーターズ, 大友克洋, 今敏, 大島渚, スタンリー・キューブリックなど)。
- ・人文社会科学部附属映像文化研究所副所長および映画部門部門長, 同研究所内アンドレ・バザン研究会代表
- ・入試小委員委員長(2年目の1年目)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナの影響でオンライン授業に試行錯誤する日々が続いた。そのため研究活動は, やや停滞した。

大杉 尚之

(1) 研究成果(著書)

(2) 研究成果(論文)

大杉尚之, & 河原純一郎.(2020). お辞儀と顔の外見的特徴が主観的魅力に及ぼす影響. 認知心理学研究, 17, 69-77.

大杉尚之.(2021). 心理学系学部の大学生のための lab.js による実験プログラミング学習環境の構築. 基礎心理学研究, 40, 3-9

大杉尚之・本多薫・山本陽史・小林正法.(2021). 高大連携授業を通じた探究活動の相互連携の試みー山形大学と米沢興譲館高等学校を事例としてー. 山形大学大学院社会文化システム研究科紀要, 18, 37-50.

高萍・大杉尚之.(2021). 他者の評価が女子大学生の瘦身願望に与える影響. 山形大学大学院社会文化システム研究科紀要, 18, 1-18.

小林正法・大杉尚之(2021). オンライン実験・調査への参加・作成を介した心理教育. 映像情報メディア学会誌, 75, 474-479. (依頼論文)

大杉尚之・小林正法(2021). GUI ベースの web 実験作成ツール (lab.js) の紹介と実践. 認知心理学研究, 19, 1-15. (* 同等貢献著者)

Osugi, T., & Kawahara, J. I. (2021). The Spill-over Effect of the Formal Bowing Motion on Subjective Facial Attractiveness. Japanese Psychological Research.

大杉尚之.(2021). 心の健康に関する相談相手の実態と相談窓口の認知度について: 山形市民と山形大学生の事例. 山形大学人文社会科学年報, 18, 163-174.

大杉尚之.(2021). 山形大学小白川キャンパス周辺における小学生保護者の不安経験と大学生の問題認識. 山形大学人文社会科学年報, 18, 205-215.

(3) 研究成果 (学会発表)

土井 葉穂・大杉尚之・小林正法 視覚的ワーキングメモリに視線・表情が及ぼす影響, 第19回日本心理学会 注意と認知研究会合宿研究会, 7, オンライン (2021年3月)

大杉尚之. 山形大学人文社会科学の学生の相談相手, 相談窓口の認知度の現状 山形大学人文社会科学部 FD ワークショップ「学生からの SOS を見逃さない～若者の生きにくさと自殺予防～」教育方法検討部会・安全安心価値創造研究所・山形県精神保健福祉センター共催, オンライン, (2021年8月). 話題提供者.

大杉尚之・河原純一郎 ウェブ実験によるお辞儀効果の再現性の検証. 日本心理学会第85回大会, P-03, オンライン, (2021年9月).

小林正法・国里愛彦・大杉尚之・西山慧・紀ノ定保礼・遠山朝子. TWS「はじめてのオンライン心理学実験・調査: jsPsych と lab.js を用いた作成」日本心理学会第85回大会, オンライン, (2021年9月). 話題提供者.

大杉尚之・小林正法. "ヒト"のここをスマホのブラウザで計ってみよう! 2021年度日本基礎心理学会公開シンポジウム「こころ」ってそうなのかな! -基礎心理学が拓く「こころ」の不思議, オンライン開催 (2021年10月) 話題提供者.

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

卒業研究

オンライン面接における評価者の態度と人数が心理状態に及ぼす影響

周囲の援助候補者数が援助要請行動に与える影響

パーソナリティ特性と内集団バイアスの関連

説得的コミュニケーションが心理的リアクタンスに及ぼす影響

ソーシャルゲームにおける没頭および課金行動場面に関する探索的検討

授業

前期

認知心理学概論

認知心理学基礎演習

認知情報科学基礎実習

認知心理学演習 (前期)

課題演習 (地域情報)

心理科学特論 A

データ処理演習

後期

人間文化入門総合講義

認知心理学演習 (後期)

認知心理学特殊講義

情報処理実習

心理学特殊実験

心理学特別演習 A

教育活動

令和3年度山形大学優秀教育者賞（2021/11/30）。

法政大学にて特別講義「[GUIベースのweb実験作成ツール（lab.js）ワークショップ]」（2021/11/29）。

高大連携

米沢興譲館高等学校の学生を対象に、「異分野融合サイエンス」（通称FS）の模擬講義（4回）
(6) 研究・教育活動に関するコメント

小笠原 奈菜

(1) 研究成果（著書）

[著書]

1. 『先端消費者法問題研究—研究と実務の交錯 [第2巻]』, 編者: 消費者市民ネットとうほく, 民事法研究会, 全152頁, 21頁~39頁「メーカー保証および代理店保証の法的性質—消費者保護の観点から」(2021年3月)
2. 『新基本法コンメンタール 債権2』, 編者: 鎌田 薫, 潮見 佳男, 渡辺 達徳, 日本評論社, 全346頁, 180頁~188頁「使用貸借」(2020年10月)

(2) 研究成果（論文）

[論文]

「デジタル遺品の相続性に関する条項への消費者契約法10条の適用可能性—ドイツ連邦通常裁判所2018年7月12日判決（Facebook判決）を契機として—（3・完）」山形大学法政論叢74号（山形大学法学会）56頁~69頁（2021年3月）

(3) 研究成果（学会発表）

[研究発表]

1. 「アカウントやIDに関する相続禁止条項の有効性」, ネットとうほく消費者被害事例ラボ, 仙台弁護士会館（2020年11月）
2. 「デジタル遺品の相続性に関する条項への消費者契約法10条の適用可能性」, 国際取引法研究会, オンライン（2020年10月）

(4) 研究成果（その他）

[その他]

1. 「美容医療における医師の説明義務 大阪地裁平成27年7月8日判決」消費者法判例百選（第2版）200頁~201頁（2020年9月）
2. 「消費者法情報」現代消費者法50号（民事法研究会）111頁~112頁（2021年3月）

(5) 教育、地域連携等の活動

[担当授業科目]

- 専門教育科目: 民法基礎（契約法）, 民法基礎（総則）, 民法基礎（不法行為法）, 民法演習, 専門基礎演習
（オムニバス方式）総合講座Ⅱ（法律）

〔地域連携〕

消費者市民ネットとうほく理事, 検討委員

山形県消費生活審議会委員 (副委員長)

山形県公益認定等審議会委員

山形県個人情報保護運営審議会委員

山形県情報公開・提供の検証見直し第三者委員会委員

消費者市民ネットとうほく主催「ネットとうほく消費者被害事例ラボ」講師 (2020年11月)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究については、共著2冊, 論文1本, 判例評釈1本を執筆することができ、口頭報告を2件行なうことができた。口頭報告についてはコロナ禍でオンラインとなり慣れないこともあったが、時間ロスがほぼなく研究会に参加できるようになったのはありがたかった。

地域連携について、適格消費者団体の理事として、特定適格消費者団体を目指し活動を続けるとともに、地域の方々への消費者問題の理解を深めるための講演をすることができた。その他、山形県の各種委員会委員の業務も行った。

教育について、卒論執筆学年の演習担当学生11名を含め計18名で演習を行なった。前期は遠隔授業となったため試行錯誤であったが、後期は対面となりスムーズにできた。講義については遠隔の方が複数の受講生から同時に意見をもらうことが可能な点など、対面よりも教育効果が高いのではという印象であった。

小幡 圭祐

(1) 研究成果 (著書)

【分担執筆 (査読あり)】

- ・明治維新史学会編『明治維新史論集2 明治国家形成期の政と官』(有志舎, 2020年10月25日)
担当: I 明治初年の政官関係「一 大隈重信の政治的・行政的基盤と「事務局」」

(2) 研究成果 (論文)

【査読なし】

- ・小幡圭祐「山形県にサクランボを導入したのは三島通庸か?」(『山形史学研究』48, 2020年8月)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

【学内委員】

- ・附属博物館, 学芸研究員, 2020年4月～ 継続中

(5) 教育, 地域連携等の活動

【教育】

○卒論指導

- ・正指導 = 日本中世史3名・日本近世史2名・日本近代史5名

○修論指導

- ・副指導 = 日本現代史1名

○担当授業

- ・基盤共通教育＝明治時代の文化と社会（前期）
- ・専門教育＝日本近代史概論（前期）・日本近代史演習（前期・後期）・日本近代史特殊講義 a（後期）・日本歴史文化論（前期・共担）・歴史学基礎演習 b（前期・共担）・課題演習（地域歴史史料）（前期・共担）・課題演習（歴史文化実習）（後期・共担）・博物館実習（集中・共担）・卒論演習（前期・後期）
- ・大学院＝日本近代史特論 I（前期）・日本近代史特別演習（後期）

○研究生受け入れ

- ・中国人学生 1 名

【地域連携】

○学会・委員会等活動

- ・岩沼市史編集専門部会（近代・現代部会），調査執筆員，2012年10月～ 継続中
- ・東北史学会，評議員，2019年10月～ 継続中
- ・山形県文化財保護審議会，委員，2021年03月～ 継続中

○学外での活動（高大・地域連携等）

- ・2020年度山形大学オープンキャンパス，2020年 8 月
2020年 8 月22日開催のバーチャルオープンキャンパスに際し，生田慶穂先生・加藤健司先生と「日本学の可能性－文学と歴史学－」と題してライブ講義を行った。
- ・2020年度東北史学会山形大会（東北史学会），2020年10月
2020年10月 3 日から 4 日にかけて，山形大学人文社会科学部を会場として全国学会である東北史学会の大会を開催した。実行委員会の事務局として大会の企画・運営に与った。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

上に挙げたもののほか，研究については，次年度刊行予定の著書（分担執筆）の準備と論文の投稿を行いました。コロナ禍での教育や全国学会の開催準備に専念したこともあり研究発表ができなかったことと，外部資金が確保できなかったことが反省点です。次年度も研究に教育に励みたいと思います。

柿並 良佑

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

「人間（オム）なきオマージュ——バタイユとナンシー，思考の身振りと力」，『多様体』第2号：総特集「ジャン＝リュック・ナンシー」，月曜社，2020年10月，103-114頁。

「観念に到来せ（ぞ）る病について：D'une maladie qui (ne) vient (pas) à l'idée」，『物語研究』物語研究会，第21号，2021年 3 月，153-175頁。

(3) 研究成果（学会発表）

「オーガナイズ・司会」ワークショップ「『情動』論の現在——その多元的前線」，表象文化論学会・オンライン研究フォーラム，2020年 8 月 9 日。

(4) 研究成果（その他）

（翻訳）ジャン＝リュック・ナンシー「日本のみなさんへのメッセージ」，『多様体』第2号：

総特集「ジャン＝リュック・ナンシー」, 月曜社, 2020年10月, 35-40頁 (乙幡亮との共訳)。

(翻訳) アレクサンダー・ガルシア・デュットマン「恐れるところを知らず——八〇歳を迎えるジャン＝リュック・ナンシーに」, 『多様体』, 同上, 355-357頁。

(書評)「大貫恵美子著『人殺しの花』」, 『週刊読書人』, 2020年4月10日号 (3335号)。

(解説記事)「各国における受容 4 フランス」, 日本アーレント研究会編『アーレント読本』法政大学出版局, 2020年, 331-334頁 (渡名喜庸哲との共同執筆)。

(5) 教育, 地域連携等の活動

大杉尚之・柿並良佑「デジタル時代の人文学——文化解釈学と認知情報科学の視点から」, 山形大学バーチャルオープンキャンパス2020「ライブ@小白川キャンパス」, 8月22日。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

兼子 良久

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

- ・兼子良久「消費者の料金制選択に対する影響要因に関する考察－日本国内の消費者を対象とした実証分析－」, 日本言語文藝研究. 第20号, p.268～ p.286 (査読付)
- ・兼子良久「価格複雑性が価格知覚とサービスに対する態度に与える影響」, 社会文化システム研究科紀要, 第17号, p.95～ p.112

(3) 研究成果 (学会発表)

- ・兼子良久「定額料金制に関する一考察」, 日本商業学会関西支部会, 於名城大学※オンライン開催

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

・担当授業

学部：マーケティング a・b, マーケティング演習, 共生のマーケティング, データ処理演習, スタートアップセミナー

大学院：マーケティング論特論 I, マーケティング論特別演習, 企業経営特別研究 I

地域連携等：山形県長井市長井創生会議委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

教育活動において, コロナ禍での対応に試行錯誤した1年でした。

川村 一義

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

【担当科目】

政治学入門, 政治過程論1・2, 公共政策学1・2, 公共政策学演習, 総合講座I (分担), 公共政策・地域課題実践演習A2 (分担), 公共政策学特論 (大学院)

【地域連携】

山形県尾花沢市総合戦略検証委員会 委員

山形県尾花沢市総合企画審議会 委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

許 時嘉

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「此の身は飛蓬に類し, 此の心は淡きこと水の如し」——初山衣洲の清国体験をめぐって, 山形大学人文社会科学部研究年報, (18), 2021年03月, PP25-37

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

- ・基盤研究 (C), 2020年04月 ~ 2024年03月, 1920-1930年代植民地台湾におけるアジア共同体認識の変容, 研究代表者。

- ・2020年日本台湾学会第22回学術大会第4分科会コメンテーター (2020/5/25, オンライン開催)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

清塚 邦彦

(1) 研究成果 (著書)

共著 (事典項目執筆) 美学会編『美学の事典』丸善出版, 2020年12月 (「フィクション」の項目 (76-77頁) を執筆。

(2) 研究成果 (論文)

論文 清塚邦彦「E・H・ゴンブリッチの画像表象論: 『芸術と幻影』を中心に」『山形大学人文社会科学部研究年報』18号, 39-74頁, 2021年3月。

書評 清塚邦彦「書評: 三木那由他著『話し手の意味の心理性と公共性』(勁草書房, 2020年)」, 『図書新聞』3466号, 3頁, 2020年10月。

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(その他の研究活動)

- ・論文査読 (Review of Analytic Philosophy, 『科学基礎論研究』, 『新進研究者 Research Notes』 — 各1件。『科学哲学』2020年度石本賞審査)

- ・東北哲学会 委員

- ・科学研究費補助金 基盤研究 (C), 「画像表象の意味論に関する哲学的研究」(研究代表者, 2020年04月~2022年03月)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業

(基盤教育)

「哲学ってどんなこと? (哲学)」(前期)

(専門教育)

「哲学概論」(前期), 「哲学特殊講義」(後期), 「哲学基礎演習」(前期), 「哲学演習」(前期・後期), 「専門英語演習 (哲学)」(後期)

(大学院)

「英米哲学特論Ⅱ」(前期), 「思想文化特別研究Ⅱ」(前期・後期)

卒論指導担当 正4名

修論指導担当 正2名

(6) 研究・教育活動に関するコメント

源島 穰

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

源島穰・川島佑介 (2021) 「東ロンドン再生を巡る中央政府とロンドン特別区の協調体制の考察」
『山形大学人文社会科学部研究年報』18: 89-116。

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

【担当科目】

- 基盤: 日本国憲法, 基幹科目 (共生を考える)
- 専門: 行政学 a・b, 行政学演習, 専門基礎演習, 総合講座 I (分担)
- 研究科: 行政学特論 I, 行政学特別演習
- 非常勤: 公共政策基礎理論 (東北大学, 分担)

【地域連携等】

- 山形県社会福祉協議会運営委員
- 出前授業 (山形県立東桜学館中学校, 2021年1月)
- 山形県政に関する取材協力 (毎日新聞, 2020年4月)
- 山形県政に関する取材協力 (日経新聞, 2020年5月)
- 山形県知事選挙に関する取材協力 (テレビユー山形, 2021年1月)
- 山形県政に関する取材協力 (テレビユー山形, 2021年1月)
- 山形県政に関する取材協力 (さくらんぼテレビ, 2021年3月)
- 山形県政に関する取材協力 (テレビユー山形, 2021年3月)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究では, 論文を1本掲載できた。次年度は学会報告や学会誌への投稿を目指したい。
教育では, 今年度は新たに大学院や非常勤の授業を担当する機会に恵まれた。

地域連携では取材協力を中心に、学術的知見を地域に一定程度還元できたと思う。

小泉 有紀子

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

Koizumi, Yukiko. Comprehension of negation and adverbial scope ambiguity in Japanese -initial findings- IEICE Technical Report (電子情報通信学会技術研究報告), Vol.119, No. (思考と言語研究会 Proceedings). pp.71-75.

(3) 研究成果（学会発表）

Koizumi, Yukiko. Comprehension of negation and adverbial scope ambiguity in Japanese -initial findings- 電子情報通信学会 思考と言語研究会（オンライン）2020年12月.

(4) 研究成果（その他）

科研費基盤C「多義構造の処理方略とは：日・英・西語における韻律の役割を中心に」3年目

(5) 教育，地域連携等の活動

授業

基盤教育：総合英語，コミュニケーション英語LW

専門教育：実践英語 a, b, 英語学演習 b, 卒論演習

大学院：現代外国語（英語），心理言語学特論 心理言語学特別演習

学生指導

卒業論文主指導：9件

修士論文副指導：1件

学会活動

全国英語教育学会機関誌 ARELE 紀要編集委員

全国英語教育学会機関誌 ARELE 査読委員

その他の活動

English Communication at Global Studies. (人文社会科学部オンラインオープン・キャンパス模擬講義) 2020年8月。

基盤教育英語オンライン授業実践報告。2020年9月。

研究紹介動画（人文社会科学部）。2020年9月。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

令和2年度 学部優秀社会貢献者賞をいただきました。ありがとうございました。

合田 陽祐

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

合田陽祐「小説における象徴主義の記号理論——記号の循環と開かれた解釈をめぐって」, Stella, 第39号, 159-182ページ, 2020年12月（査読あり）。

(3) 研究成果（学会発表）

合田陽祐「1890年代の象徴派小説における作家のエートス——グールモンとジャリの場合」, 日本フランス語フランス文学会ワークショップ「世紀末小説再考——文学とその外部」, 2020年10月25日。

(4) 研究成果 (その他)

ワークショップの組織, 当日の司会, 報告書の執筆。「世紀末小説再考——文学とその外部」, 日本フランス語フランス文学会ワークショップ, 2020年10月25日 (辻昌子氏, 鈴木重周氏, 實谷総一郎氏と)。

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育の活動 (担当授業)。前期: フランス語 I (人社・理クラス, 週 2 コマ), フランス語 I (工学部, 週 1 コマ), フランス語学演習, フランス文化論, 留学事前演習

後期: フランス語 II (人社・理クラス, 週 2 コマ), フランス語 II (工学部, 週 1 コマ), フランス語講読, フランス文化演習, 留学事前演習

実用フランス語検定試験(APEF)の2020年度秋季試験を山形大学を準会場として実施。総合責任者, 試験監督を担当。

日本フランス語フランス文学会東北支部大会にてシンポジウムの司会を担当。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

下記の科研費の研究を継続して実施した。合田陽祐「文芸誌を介して見る象徴派の小説研究——ジャンル論と集団性の観点から」, 日本学術振興会 科学研究費 (基盤研究 (C)), 2019年 4 月 -2023年 3 月。

モントリオール大学への留学 2 名。当該年度はコロナ禍のため協定校への留学が短期切り上げ (最大 6 か月まで) となった。

DELF (フランス国民教育省フランス語資格試験) の受験者に対して, フランス語セクションから受験費の助成を行った。

コーエンズ 久美子

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

日本登記法学会第 5 回研究大会 (2020年11月28日)「企業金融の実態に関する聞き取り調査と動産・債権譲渡担保について」

(4) 研究成果 (その他)

消費者法情報『現代消費者法』48号 (2020年 9 月) 140頁~142頁

(5) 教育, 地域連携等の活動

[担当授業] 基盤教育基幹科目 (共生を考える), 総合講座 II, 会社法 1・2, 商法 1・2, 商法演習, 国際取引マネジメント論 (理工学研究科)

[地域連携活動] 山形地方最低賃金審議会公益委員, 東北地方社会保険医療協議会山形支部公益委員, 山形県男女共同参画審議会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

2017年より共同研究として実施してきた企業金融に関する実態調査を踏まえ、担保法に関する論文の執筆を開始した。その一部を、動産・債権譲渡の見直しの方向性について、日本登記法学会において報告した。

教育面では、恒例の愛知大学、立命館大学との合同ゼミを zoom により実施した。教員が用意したテーマにつき、各校で事前に検討し、パワーポイントのスライド準備、プレゼンテーションを行ってもらった。オンラインでは、チーム内の打ち合わせや質疑応答の際になかなか協力体制が取りにくいといった課題があり、引き続きスムーズな実施方法について検討することとした。

小林 正法

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

大杉尚之・小林正法（印刷中）GUI ベースの web 実験作成ツール（lab.js）の紹介と実践 認知心理学研究

小林正法（印刷中）懐かしさの喚起：喚起法、測定、個人差 心理学評論

小林正法（2021）。再生テストに基づく記憶現象のオンライン実験による再現 心理学研究 Advance online publication

豊田雪乃・小林正法・大竹恵子（印刷中）援助想像が援助意図に及ぼす影響——イラスト刺激と文章刺激の比較—— 心理学研究

(3) 研究成果（学会発表）

小林正法（2020, 11月）。「lab.js」による GUI ベースのオンライン実験作成

（話題提供）日本基礎心理学会第39回大会シンポジウム「オンライン心理実験（lab.js & Gorilla）」

小林正法（2020, 8月）。オンライン心理学実験（話題提供）日本認知心理学会研究法研究部会特別企画「パンデミック下における心理学研究法」

小林正法（2021年3月）再生に基づく記憶現象のオンライン実験による再現 日本認知心理学会18回大会, オンライン開催

中村志津香・小林正法（2020年12月）勤務形態の違いが仕事からのディタッチメントに与える影響 第27回日本行動医学会学術総会, オンライン開催

小林正法（2020年11月）描画による記憶促進の 事前登録型追試 日本基礎心理学会第39回大会, オンライン開催

小林正法（2020年9月）「忘れる」と「美味しくなくなる」第84回日本心理学会大会, オンライン開催

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育, 地域連携等の活動

【教育】

• 卒業研究3名

オンライン実験によるテスト効果と個人差の検討

ダークな人の人助け -Dark Triad と援助行動の関連-

正誤フィードバックが学習に与える影響

• 担当授業

行動科学概論, 行動科学基礎演習, 行動科学演習, 認知情報科学基礎実習, 情報処理実習, 心理学特殊実験, 卒業論文演習 I・II, 社会心理学概論, データ処理演習, 課題演習 (地域情報)

【地域連携】

米沢興譲館高校 SSH 探究活動中間発表会・審査員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

オンライン実験・調査に対する資料を公開し, 他の研究者に対してコロナ禍における情報提供ができた。

是川 晴彦

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

東北経済学会評議員

(5) 教育, 地域連携等の活動

1) 講義: ミクロ経済学 1, ミクロ経済学 2, ミクロ経済学 3, 公共経済学, ミクロ経済学演習

2) 地域連携: きらやかマネジメントスクールの企画・運営・講義担当, エクステンションサービス推進本部における教育企画の推進

(6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナ禍での教育実施や組織運営に多くの時間を割くことになった。これらの経験で得た知見を組織における教育や研究の強化・充実に活かしていきたい。

今野 健一

(1) 研究成果 (著書)

なし

(2) 研究成果 (論文)

「ニューヨーク市の最近のポリシング改革—Floyd 訴訟連邦地裁判決後の取り組み—」(共著)『山形大学紀要 (社会科学)』51巻 1号 (2020.7.31) pp.19-36.

(3) 研究成果 (学会発表)

なし

(4) 研究成果 (その他)

『教育小六法 (2021年版)』〔勝野正章 = 窪田眞二 = 今野健一 = 中嶋哲彦 = 世取山洋介・編集委員〕(学陽書房, 2021.1.27)〈編集委員として編集・執筆〉

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 教育

専門科目: 憲法 1, 憲法 2, 教育法, 憲法演習 II, 総合講座 II

基盤科目：日本国憲法，基幹科目（共生を考える），教養科目（法学）

• 地域連携等

山形市情報公開・個人情報保護審査会委員，山形県後期高齢者医療広域連合情報公開・個人情報保護審査会委員，山形県広域環境事務組合情報公開・個人情報保護審査会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究面では，かねて研究課題としてきた，ニューヨーク市のポリシング改革の動向をフォローする論考を大学紀要に発表した。また，引き続き，教育法規集の編集委員として，編集・執筆作業を行った。教育面では，Covid-19の拡大による影響を受けてオンライン授業が採用されるなか，試行錯誤が続いた。特に前期は，おおむねオンデマンド型で授業を実施したが（演習のみ途中からリアルタイム方式），授業資料づくりに多くの時間をとられたほか，毎回のコメント管理，期末試験・レポートの実施についても，通常授業よりはるかに手間がかかった。専門演習では，例年どおり，4年生の卒業研究論文（ゼミ論）の指導を継続的に行い，最終的に論文集として取りまとめた。

坂井 正人

(1) 研究成果（著書）

Masato Sakai, Jorge Olano, Hiraku Takahashi 2021 *Líneas y Cerámica en las Pampas de Nasca, Perú, 2011-2013.*, p.247, Yamagata University Press.

(2) 研究成果（論文）

(3) 研究成果（学会発表）

Masato Sakai, Jorge Olano "La investigación y Protección de las Líneas y Geoglifos de Nasca". Ciclo de conferencias Por los 26 años de las Líneas y Geoglifos de Nasca y Palpa 2020年12月16日

坂井正人 「ナスカの地上絵研究と AI 活用」，東京理科大学。2021年3月5日。

Sakai, Masato "Geoglyphs, Literacy and Social Memory: Activities in the Nasca Pampa from the Late Early Horizon to the Late Horizon". Nasca: Virtual Research Meeting. (Hosted by Yamagata University, Northern Arizona University and Texas State University) . 2021年3月13日 .

(4) 研究成果（その他）

Sakai, Masato, Yuichi Matsumoto (eds.) 2020 *Peruvian Archaeology. Vol.4*, Yamagata University Institute of Nasca.

(5) 教育，地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

ナスカ研究者13名を集めて，山形大学と米国大学（Northern Arizona University, Texas State University）が主催して，3回（2021年2月20日，3月12日，3月13日）の国際バーチャル研究集会を実施した。コロナの影響で，バルーから帰国したのは2月26日。バルーで実施する予定であった大学院の授業は対面ではなく，Zoomを利用した。

坂本 直樹

(1) 研究成果 (著書)

1) Resilience and Urban Disasters: Surviving Cities, K. Borsekova, T. İ. Çekiç, M. Dobřík, K. Fabián, R. Fabling, D. Felsenstein, R. Goncharov, A. Grimes, A. Y. Grinberger, Y. Ishikawa, M. Morisugi, K. Nakajima, P. Nijkamp, M.D. Özügül, F. Pagliacci, M. Russo, L. Rýsová, N. Sakamoto, E. Seçkin, M. Taheri Tafti, L. Timar, N. Zamyatina 著, 2020.1, Edward Elgar Publishing

2) 東日本大震災から10年 再生・発展における課題の分析 — 経済分析とメンタルケアの視点から —, 廣野恵子・矢口和宏・矢尾板俊平・野坂美穂・若林真衣子・生駒忍・亀谷祥治・坂本直樹著, 2020.6, 大成出版社

(2) 研究成果 (論文)

1) 決算統計の標準化からみる東北地方の市町村財政, 坂本直樹著, 2020.4, 東北自治, 第86号, pp.14-22

2) Cost-Benefit Analysis of Adaptation to Beach Loss Due to Climate Change in Japan, K. Nakajima, N. Sakamoto, K. Udo, Y. Takeda, E. Ohno, M. Morisugi and R. Mori, Journal of Marine Science and Engineering, 8 (9), 715, 2020.9.

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

佐藤 清人

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「断片的な物語ー Julie Otsuka の小説ー」『山形大学人文学部 研究年報』第18号75-87頁 (2021年3月)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業科目

【基盤教育】「総合英語」「コミュニケーション英語」

【専門教育】「英米文学概論」

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動については, 科学研究補助金基盤 C (課題番号 JP20K00382) の研究成果を論文としてまとめることができた。

下平 裕之

(1) 研究成果 (著書)

小峯敦編『テキストマイニングで読み解く経済学史ー「計量テキスト分析」の試み』ミネルヴァ

書房, 2021年2月(共著)

(2) 研究成果(論文)

(3) 研究成果(学会発表)

セッション「経済学史のオンライン教育～事例と情報共有」経済学史学会東北部会第41回例会, 2020年10月4日, オンライン開催【山形大学の事例を報告】

(4) 研究成果(その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 教育活動

山形大学における担当授業:

[学部] 経済思想, 経済学史, 経済学史演習

[大学院] イギリス経済学史特論・特別研究

[基盤教育] コロナウィルス感染拡大のため不開講

非常勤: 放送大学(客員教授), 羽陽短期大学(経済学), 東北文教大学(地域と観光)

その他: 基盤共通教育基幹科目部門長, 地域創生教育センター長

• 地域連携活動

山形財務事務所財務モニター

やまがた若者チャレンジ応援事業審査委員長

山形県職業能力開発審議会会長

山形県公共事業評価監視委員会委員

上山市振興審議会委員

長井市レインボープラン活動評価分析(市民アンケート担当)

出張講義(オンライン・米沢興譲館高校)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

科研費(基盤研究(B))による「テキストマイニングによる経済学の大衆への普及のプロセス研究」というテーマで引き続き研究を進め, 今年度は最終的な成果として共同研究者達との共著を刊行することができた。教育活動は新型コロナウイルスの影響を受け, オンライン授業の実施等試行錯誤で新たな取り組みを行った。

杉野 誠

(1) 研究成果(著書)

“The Economic Effects of Equalizing the Effective Carbon Rate of Sectors: An Input–Output Analysis”, pp197–216, in Toshi Arimura and Shigeru Matsumoto Ed. Carbon Pricing in Japan, Springer, 2020.

(2) 研究成果(論文)

“Energy-Related Environmental Policy and its Impacts on Energy Use in Asia,” Asian Economic Policy Review, 16(1), 44–61, 2021 (co-author Toshi H. Arimura).

「アジアにおける脱炭素社会に向けた国際協力の可能性—カーボンプライシング・市場メカニズムの視点—」, 環境経済・政策研究, 13(2), 70–74, 2020年(共著者: 有村俊秀)。

(3) 研究成果(学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

地域連携: 全国健康保険協会山形支部・評議員, 山形県長寿医療懇談会・委員, 国土交通省東北地方整備局・山形ブロック総合評価委員会・委員, 山形県総合政策審議会・委員, 山形県病院事業中期経営計画・外部評価委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

累積していた研究が論文や図書として成果となって表れだしている。今後の目標は、学会報告で終わっている研究を雑誌に掲載できるよう、修正等を行っていききたい。

鈴木 亨

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

鈴木亨「属性評価文の拡張用法—活動動詞と形容詞の臨時的組み合わせ」 「言語変化・変異研究ユニット」第6回ワークショップ (2020年8月)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業: 総合英語, コミュニカティブ英語, 英語学特殊講義, 日英対照言語学講義, 教職実践演習 (英語), 英語語法論など

教員免許状更新講習: 「変異と変化から考える現代英語の姿—言語使用における文法の役割」(2020年8月, オンライン)

模擬講義: 宮城県立利府高等学校「ビートルズと BLM — Blackbird を聴いて英語を学ぶ」(2020年10月, オンライン)

放送大学面接授業: 山形放送大学センター「英語の歌で学ぶ英米の文化と社会」(2020年12月)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究面では、英語の逸脱的・創造的表現の発現をめぐる文法研究を進めた。教育面では、オンライン授業の導入に伴い、これまでの授業内容と手法を大幅に見直すとともに、オンライン独自の授業実施方法について試行錯誤を重ねた。

砂田 洋志

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「Hawkes 過程の理論と実証—東京金先物市場への応用—」, 山形大学紀要 (社会科学), 第51巻第2号, pp.1-14, 2021年2月

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

・西村山地区における交通に係る集計・分析等業務委託の報告書—寒河江市におけるアンケート調査の分析調査—, 32ページ, 2021年3月。

- ・西村山地区における交通に係る集計・分析等業務委託の報告書—大江町におけるアンケート調査の分析調査—,30ページ,2021年3月。

(5) 教育, 地域連携等の活動

●担当授業

計量経済学1・2, 統計学1・2, 演習(学部), 統計学基礎(ジェネリックスキル科目), マクロ経済学の基礎を学ぶ(基盤共通教育科目)

●地域連携

◎委員長・座長

1. 山形県庁の行政支出点検・行政改革推進委員会(委員長)
2. 山形県入札監視委員会(委員長)
3. 山形県地域公共交通活性化協議会(座長)
4. 天童市振興審議会(委員長)

◎委員

5. 国土交通省東北地方整備局入札監視委員会委員
6. 山形労働局山形地方労働審議会委員委員
7. 山形県統計利用アドバイザー
8. 山形県政府調達苦情検討委員会委員
9. 山形県市町村職員共済組合と同互助会の学識経験監事
10. 西村山地域広域連携協議会委員会委員
11. 山形大学生協理事

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- ・山形大学人文社会科学部優秀社会貢献者賞を受賞した。
- ・令和2年度は11の兼業(委員長と座長は4つ)を担当した上, 昨年に引き続き, 西村山連携協議会から委託研究を受託した(45万円)。
- ・委託研究で実施したアンケートの回答者数が1,000人を超えた上, 寒河江市編と大江町編という2種類の報告書を作成したため, 年度末は多忙であった。
- ・主研究では, 一変量 Hawkes 過程を用いて金先物市場における取引データの分析を行うことができた。今後は二変量 Hawkes 過程を用いた分析へ拡張したい。
- ・令和2年度は卒業論文を1名の学生が執筆し, ゼミ論文を1名の学生が執筆した。論文作成の指導に加え, 例年とおり卒業論文・ゼミ論文の報告会を開催した。

撰津 隆信

- (1) 研究成果(著書)
- (2) 研究成果(論文)
- (3) 研究成果(学会発表)
- (4) 研究成果(その他)

研究会報告 福島例会 報告

(「モルフォロギア」, 第42号, 137-139頁)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナ禍のため教育について完全な手探り状態だった。それに伴い研究も進捗させられなかった。今後は研究にも重点を置いていきたい。

高倉 新喜

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

- ・高倉新喜「刑事再審制度の歴史的意義と基本構造」大出良知・高田昭正・川崎英明・白取祐司先生古稀祝賀論文集『刑事法学と刑事弁護の協働と展望』(現代人文社, 2020年) 133-147頁
- ・高倉新喜「協議・合意制度における虚偽供述の危険性」山形大学法政論叢74号 (2021年3月) 1-32頁
- ・高倉新喜「任意捜査における留め置きと現行犯人逮捕に伴う無令状の搜索差押え」新・判例解説 Watch28号 (2021年) 225-228頁文献番号 z18817009-00-081371955 (2020年11月27日掲載)
- ・高倉新喜「日々の刑事弁護の実践例から理論を考える第8回 大阪地判令元・9・25LEX/DB25570518 違法収集証拠排除と補強法則 覚せい剤自己使用の補強はどこまで必要か? 理論的検討」『季刊刑事弁護』105号 (2021年) 97-99頁

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

〈教育〉

- ・専門教育 → 刑事訴訟法1, 刑事訴訟法2, 刑事法基礎2, 刑事訴訟法演習, 法と裁判, 総合講座II (刑事訴訟法の部), 法務実践演習d
- ・基盤教育 → 裁判員制度—刑事司法との共生を考える (共生を考える)

〈地域連携〉

- ・山形県精神医療審査会委員
- ・山形県弁護士会綱紀委員会委員
- ・山形地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員
- ・山形県教職員法令遵守委員会委員長

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動においては, 科学研究補助金基盤C (課題番号16K03359) の研究成果を論文の形で発表できた。

教育活動においては, 新型コロナウイルス禍のため様々な制約があったが, 法務実践演習dの一環として山形刑務所で刑務官の講義を学生に聴講させることができた。「裁判員制度—刑事司法との共生を考える (共生を考える)」では, Webclassにより裁判員制度の基礎的事項を学生に修得させた。刑事法基礎2では, Webclassにより刑事訴訟法の基礎的事項を学生に修得させた。刑事訴訟法1・2では, 対面とWebclassの併用により, 実際の刑事手続で起こる具体的問題について学生に考えさせた。「法と裁判」では, 対面とWebclassの併用により, 法と裁判の全体像

と具体的なイメージを学生に把握させた。

高橋 真彦

(1) 研究成果 (著書)

斎藤衛・高橋大厚・瀧田健介・高橋真彦・村杉恵子 (編)。2020。『日本語研究から生成文法理論へ』開拓社。

(2) 研究成果 (論文)

Takahashi, Masahiko. 2020. Masayoshi Shibatani, Shigeru Miyagawa, and Hisashi Noda (eds.), Handbook of Japanese Syntax (Review) . Studies in English Literature 97: 132-141.

高橋真彦。2020。「例外的格標示構文の対格主語」斎藤衛・高橋大厚・瀧田健介・高橋真彦・村杉恵子 (編)『日本語研究から生成文法理論へ』 pp. 266-281. 開拓社。

Takahashi, Masahiko. 2021. Accusative subjects in Japanese ECM constructions. Nanzan Linguistics 16: 133-148.

(3) 研究成果 (学会発表)

高橋真彦。2021。主格／対格目的語の作用域について。Comparative Syntax and Language Acquisition (CSLA) #11 2020年度統語論ワークショップ, 南山大学

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

- ・授業: 総合英語, 実践英語 e, 実践英語 f, 言語学演習 b, 卒業論文, 卒論演習,
- ・卒業論文正指導 2 名
- ・修士論文審査員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

高橋 良彰

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

「巻頭言 ボアソナード家の不動産登記」『月報司法書士』No.585.2020年11月号, pp.2-3。

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

日本司法書士会連合会による司法書士史の編纂に引き続き協力した。講義は, 法学, 担保物権, 物権, 相続, 演習で, 例年通りとなった。コロナの問題があり, Webclass による資料掲載が多くなった。研究としては, ボアソナード家の不動産登記のみとなったが, 基礎となる資料の整理を集中して行うことができた。また, その紹介には反響があり, 励みになった。

田北 俊昭

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

Toshiaki Takit, Lu Wang and Yichao Zhang, Regional Revitalization: The Patriot Effect and National Branding in a Small Country, The 60th Annual Meeting of Western Regional Science Association (WRSA), February 2021 (審査付き)

(3) 研究成果 (学会発表)

Toshiaki Takita, Lu Wang and Yichao Zhang: Regional Revitalization: Patriot Effect and National Branding in A Smaller Country, The 34th meeting of Applied Regional Science Conference (ARSC), 2020.12

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

産学官地域連携型研究フォーラム 羽前エキストラプロジェクト

日本産の農産物及び農産加工品の世界輸出戦略—山形県の高級米つや姫・果物・米沢牛・ワイン・日本酒の世界ブランド化 (山形大学「山形を考える—観光経済学と地域ブランド」プログラム), 2021.2.10 (農林水産省及びJETRO山形, 農林中金, 観光協会等との協働)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

今年度は国際会議での発表とその理論を生かしたシンポジウムを産学連携で実施した。

竹内 麻貴

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

竹内麻貴, 2021「育児サポートの利用可能性と大学生による地域活動への期待」『山形大学人文社会科学部研究年報』(18) 217-228。

(3) 研究成果 (学会発表)

竹内麻貴「子育てと健康: 東大社研パネルデータを用いた分析」第30回日本家族社会学学会大会, 2020年9月12日。

(4) 研究成果 (その他)

- 科研費「若手研究」の一環としてインターネット調査を実施し, データ分析と研究会での報告を行った。

(5) 教育, 地域連携等の活動

【学部教育】

社会調査法基礎, 家族社会学, 専門基礎演習, 家族社会学演習, 公共政策・地域課題実践演習 B4, 調査方法論, 卒業研究指導 (7名)

【大学院教育】

家族社会学特論 I

【地域連携】

国立社会保障・人口問題研究所「全国家庭動向調査」外部委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- 教育活動において, 編入生2名の受け入れと4年生7名の卒業研究指導を行った。

溜川 健一

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)

Taylor Principle under Inflation Targeting in Emerging ASEAN Economies: GMM and DSGE Approaches, *Bulletin of Applied Economics*, 7 (2) 35-47, 2020.

- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

時任 翔平

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)

Tokito, S., Kagawa, S., Hanaka, T., 2020, "Hypothetical Extraction, Betweenness Centrality, and Supply Chain Complexity", *Economic Systems Research*, Routledge, online published

- (3) 研究成果 (学会発表)
(口頭発表)

○ Maeno, K., Kagawa, S., Tokito, S., "The impact of reconstruction in auto mobile supply chains on global carbon footprint" The 14th Biennial International Conference on EcoBalance, Online meeting, 25 February - 5 March, 2020.

○ 前野啓太郎, 時任翔平, 加河茂美, 「自動車サプライチェーンにおける脱中国化がグローバルカーボンフットプリントに与える影響」, 『第16回日本 LCA 学会研究発表会』, オンライン, 2021年3月3日 - 3月5日。

(ポスター発表)

○ Maeno, K., Kagawa, S., Tokito, S., "The impact of reconstruction in auto mobile supply chains on global carbon footprint" The 14th Biennial International Conference on EcoBalance, Online meeting, 25 February - 5 March, 2021.

- (4) 研究成果 (その他)

科研費: 時任翔平, 「グローバルサプライチェーンでの環境負荷抑制に向けた国際産業連関構造の分解と可視化」(JSPS_21K13277), 若手研究, 日本学術振興会, 2021年度~2025年度, 直接経費360万円, 間接経費108万円

論文査読: *Journal of Environmental Management*, 2020年3月
Journal of Environmental Management, 2020年5月

- (5) 教育, 地域連携等の活動

基盤: 国際貿易 (経済学)

専門: 専門基礎演習, 総合講座Ⅲ, 国際経済学 a, 国際経済学 b, 経済数学 a, 国際経済学演習

大学院: 国際経済論特論, 国際経済論特別演習

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究：論文が査読付き国際誌にアクセプトされた。科研費を取ることができた。新しいプロジェクトが立ち上がった。実りの多い年だった。

教育：オンライン講義でできること、できないことがわかってきた。

富澤 直人

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)

翻訳：Andrew Radford (著), 金子義明・島越郎 (監訳) 『英語構文を分析する (上) (Analysing English Sentences, 2nd edition)』xiii+429, 開拓社:東京。第1章「文法」(pp. 1-84)を担当。

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育

- ・基盤教育：英語 (総合英語, コミュニカティブ英語 (ライティング), 再履修コース), 言語は臓器である, キャリア形成とワークライフバランス (1コマ)
- ・専門教育：GS 基礎講義 (1コマ), 英語学概論, 英語学特殊講義 b, 実践英語 d, e-learning, 卒論演習 1, ・卒論演習 2, 卒論
- ・卒論：正指導 1名。
- ・修論審査委員

地域連携等

- ・夢ナビ仙台会場 online
- (6) 研究・教育活動に関するコメント
- ・日本英文学会編集委員会 副委員長 (英語学部門担当)

富田 かおる

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

言語学特殊講義, 英語学演習, 英作文, 英語 (L) を学部・基盤教育として担当。Let's get together to meet William の講座を放送大学学園山形学習センターで担当。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

オンラインによる授業運営の準備と受講生とのやり取りに全精力を注ぐ事となった。

中澤 信幸

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

- 王育徳の閩音系分布概況および親疎関係研究再考 — 『閩音系研究』第1・2章一, 『天理臺灣學報』29 (天理台湾学会), pp.47-66, 2020年7月
- 「日台大辞典緒言」について, 『山形大学大学院社会文化システム研究科紀要』17, pp.69-80, 2020年9月

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

- 日本漢字音, 『講座近代日本と漢学 第7巻 漢学と日本語』（戎光祥出版), pp.131-150, 2020年4月

(5) 教育, 地域連携等の活動

〔担当授業〕

- 学部専門科目:日本語 a, 日本語学概論, 日本語学特殊講義 a, 日本語学演習 a, 課題演習 (日本語学), 課題演習 (日本語教育), 専門英語演習 (Japanese Studies), 日本語文化論 (日本語入門)
- 大学院科目:日本語史特論 I, 日本語史特別演習
- 基盤教育科目:山形の方言と日本語 (山形から考える)

〔卒業論文〕

- 韓国語の漢字語と日本漢語の対照
- 特殊効果を狙ったカタカナ表記に関する研究
- 地域におけるキャッチコピーの分析

〔修士論文〕

- 中国語における日本語からの借用語 —現代社会での変化と現状—
- 日本漢字音と中国呉方言音との対照研究

〔教育活動〕

- COVID-19禍における各大学の国際交流のあり方, 山形大学人文社会科学部国際交流委員会主催 国内大学オンライン会議, 2021年2月22日 (主催者として開催に携わる)
- COVID-19禍における国際交流の現状とこれから, 山形大学人文社会科学部国際交流委員会主催 海外提携校オンラインサミット, 2021年3月8日 (主催者として開催に携わる)

〔地域連携〕

- 台湾におけるコロナウイルスの現状と今後, 一般社団法人日台政策研究所セミナー, オンライン, 2020年8月22日 (主催者として開催に携わる)
- 台湾高速鉄道の建設と運営 —NHK ドラマ「路」で触れられなかった事実—, 一般社団法人日台政策研究所セミナー, オンライン, 2021年1月9日 (主催者として開催に携わる)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

新型コロナウイルスの蔓延により, 教育・研究活動が全体的に停滞した。学会等での研究発表の機会も失われたが, その中で前年度までの研究成果を活かして論文を出すことができた。

一方、オンラインでの研究会等の活動は、むしろ活発に行われた。一般社団法人日台政策研究所では、2回にわたってオンラインセミナーを開催したが、主催者としてその開催に携わった。また国際交流もオンラインで行われるようになったが、その情報共有と将来的な連携構築のための「国内大学オンライン会議」「海外提携校オンラインサミット」を開催し、主催者として携わった。

中島 宏

(1) 研究成果 (著書)

宍戸常寿編『18歳から考える人権 [第2版]』(法律文化社, 2020年11月)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

[教育] 基盤: 日本国憲法, 映画で考える憲法問題 (2コマ分), 専門: 憲法3, 憲法4, 憲法演習 I

[地域連携] 審議会: ①山形市個人情報保護制度運営審議会 (副会長), ②天童市情報公開・個人情報保護審査会, ③山形県後期高齢者医療広域連合個人情報保護制度運営審議会

出張講義: 米沢興譲館高校 (12月3日), 講演: 山形県弁護士会勉強会 (12月18日)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナ禍の下で入試小委員長を担当したため、非常に多忙な年度となった。

中村 篤志

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

- 中村篤志「遊牧と移住のあいだ: 20世紀前半期フルンボイル社会の動態から」岡洋樹編著『移動と共生の東北アジア: 中蒙露朝辺境にて』東北アジア研究センター, 2020年11月, pp.111-142。
- 中村篤志「Манжийн үеийн Харчин өргөө ба Сайр ус (清代のハラチン駅とサイル = オス)」S. チョローン, ホルチャ, A.A. ボリソフ, 岡洋樹, 堀内香里編著『ユーラシア遊牧民の歴史的道程』(東北アジア研究センター報告28)東北アジア研究センター, 2021年3月, pp.319-333。
- 中村篤志「清代モンゴルの駅門サイルオス: 現地調査からみた遺構の分布状況」『アジア流域文化研究』12, 2021年3月, pp.99-105。

(3) 研究成果 (学会発表)

[国際会議]

- 中村篤志「駅門の守人: モンゴル国ハラチン集団の歴史と記憶」国際シンポジウム NIHU (人間文化研究機構) 島根県立大学拠点主催「プロジェクト『北東アジアにおける近代的空間の形成とその影響』総括シンポジウム」, 2020年11月7日, オンライン開催

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育、地域連携等の活動

- 2021年3月11日：モンゴル日本人材開発センターとの共同オンライン授業開発プロジェクト「日本語」を通して、海外を知る」の企画・運営を行った。(https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/news/international/5324/)
- 国際交流委員会のホームページ改定WG長として、学部HPの国際交流ページを刷新した。(https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/international/)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

- 研究面では、科研の最終年度であったが海外調査ができず、その分成果公開に力を入れた。上記3編のほか、英文1編、日本語2編を寄稿した（来年度刊行予定）。
- 教育面では引き続きモンゴルとの交流事業に力を入れた。コロナの影響でモンゴル日本人材開発センターにおける学生研修は実現できなかったが、代わりに共同でオンライン授業を行うべくプロジェクトを企画した。
- その他、新大学院の設置準備委員、大学院の運営委員、進路指導委員、国際交流委員などを務めた。

中村 文子

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）

- 中村文子「アレクサンダー・ベッツ、フィル・オーチャード編著『履行と世界政治——国際規範はいかにして実行を変えるのか』(Alexander Betts and Phil Orchard eds., Implementation & World Politics : How International Norms Change Practice, Oxford University Press, 2014)『国際政治』第201号, 2020年9月。
- 中村文子「何が人身売買を生み出すのか?」*α-Synodos* vol.280, 125-156頁, 2020年10月。

(5) 教育、地域連携等の活動

【教育】

- 卒論指導：4名
- 修論指導：2名
- 担当授業：
 - 専門教育＝グローバル・ガバナンス論1（前期）、グローバル・ガバナンス論2（後期）、国際公共政策論（前期）、グローバル・プロブレマティーク基礎演習（前期）、専門基礎演習（前期）、専門演習（通年）、卒業論文指導（通年）
 - 大学院＝グローバル・ガバナンス論特論（前期）、グローバル・ガバナンス論特別演習（後期）
- 研究生受け入れ：1名
- 他大学との合同演習開催：仙台白百合女子大学グローバルスタディーズコースのSebastian Maslow先生のゼミと合同ゼミ（zoom開催）

【地域連携】

- 東根市情報公開・個人情報保護審査会委員

- 北村山公立病院組合情報公開・個人情報保護審査会委員
- 安達峰一郎書簡本編集作業
- 山形県立東高等学校, 2020年8月4日(オンライン指導)
- 宮城県立宮城県泉館山高校, 2020年10月3日(模擬授業)

【学会活動】

- 日本国際政治学会会員/ジェンダー分科会責任者
 - 日本平和学会会員/企画委員
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

西岡 正樹

- (1) 研究成果(著書)
- ・金澤真理, 永井善之, 石川友佳子, 西岡正樹(分担執筆)『判例回顧と展望 2019』(刑法) 日本評論社(2020年5月)
 - ・佐伯仁志・橋爪隆編『刑法判例百選Ⅱ [第8版] 各論』有斐閣(2020年11月) [分担執筆] 90-91頁
- (2) 研究成果(論文)
- ・「常習犯規定に関する一考察(2・完)」法政論叢73号(2021年3月) 33-55頁
- (3) 研究成果(学会発表)
- (4) 研究成果(その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

教育活動について, 総合講座Ⅱ, 刑事法基礎1, 刑法1, 刑法2, 刑事政策, 刑法演習の授業を担当。

地域連携等活動について, 高大連携として, 「山東探究塾Ⅱ課題研究プレ発表会」(2020年8月)にて講師を担当。学外委員として, 山形地方裁判所委員会委員, 山形市国民健康保険運営協議会委員, 山形市公設地方卸売市場取引委員会委員長, 山形市公設地方卸売市場経営戦略(経営展望)策定懇話会座長等を担当。

- (6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動について, 新たに得た科学研究費補助金(基盤研究(C))による研究を開始したが, コロナ禍により学内業務対応に相当の時間を取られ, 十分な研究成果を得ることができなかった。

教育活動について, コロナ禍での対応を迫られたが, 昨年度の授業評価等を踏まえつつ, 特に学生の理解が不十分であった点について解りやすい授業実践に努めた。

西平 直史

- (1) 研究成果(著書)
- (2) 研究成果(論文)
- (3) 研究成果(学会発表)
- (4) 研究成果(その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

学部は経営情報演習, 経営情報 a・b, オペレーションズ・リサーチ, 企業課題解決型実践演習 a(モンテ), データ処理演習を担当した。

大学院は経営システム特論 I, 経営システム特別演習を担当した。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

企業課題解決型実践演習 a (モンテ) を担当したが, コロナ感染症の影響でフィールドワークはできなかった。

福山 泰男

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

福山泰男「仏祖統紀」における智顓と関羽 (東洋哲学研究所紀要第36号, 2021,2)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント三国時代の詩人曹植について修士論文の指導を行った。

洪 慈乙

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育: 専門科目 (会計学1, 会計学2, 財務会計 a, 財務会計 b, 会計学演習)

基盤科目 (会計学入門前期・後期)

大学院 (比較会計学特論, 比較会計学特別演習)

(6) 研究・教育活動に関するコメント

本多 薫

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

1) 本多薫: 防災情報の発信と入手に関する現状と課題 —山形市住民と山形市役所の調査から—, 山形大学人文社会科学部研究年報, 第18号, pp.175-191, 2021.3

(3) 研究成果 (学会発表)

1) 門間政亮, 本多薫: 視線移動, 検索時間からのモニター画面における表示位置とクリック位置との関係について, 日本人間工学会第61回大会, 人間工学, 56巻 Supplement 号, 2F 4-04, 2020年

2) 本多薫, 門間政亮: モニター画面における表示位置と入力位置に関する基礎的検討, 日本教育工学会2021年春季全国大会 (第38回大会), 関西学院大学 (オンライン開催), P435-436,

2021年3月7日

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育:

授業:(学部) 人間情報科学概論, 情報科学概論, 人間文化入門総合講義, 人間情報科学基礎演習, 人間情報科学演習, 情報処理実習 (オムニバス), 認知情報科学基礎演習 (オムニバス), 心理学特殊実験 (オムニバス), データ処理演習, 課題演習 (地域情報)

卒業研究の指導 (正指導教員として指導した卒業論文):

- (a) 視線移動測定によるパッケージデザイン効果の分析
- (b) ランドマークが認知地図構築に及ぼす影響
- (c) 調査の回答におけるレスポンス・スタイルの検討

地域貢献活動等:

- (a) 日本人間工学会 理事・東北支部長, 代議員
- (b) 日本人間工学会東北支部運営委員会 委員
- (c) 土木学会 地下空間研究委員会心理小委員会 委員
- (d) その他, 公的資格検定試験の委員など

(6) 研究・教育活動に関するコメント

令和2年度は, 科学研究費補助金 (代表) の「学習者の疲労, 負担とヒューマン・エラーの視点からの最適な画面設計の提案」の研究を進め, その成果を全国学会で報告した。また, YU-COE (M) 「地域社会における安心・安全に関する学際的研究拠点」のプロジェクト研究の成果を学部研究年報で発表した。教育としては, 情報科学関連の講義と演習, PBL, ジェネリックスキル科目を担当するとともに, 卒業研究の指導を行った。また, 大学院理工学研究科 (理学系) 博士課程に授業 (情報・生理人類学特論) を新設した。

本多 広樹

(1) 研究成果 (著書)

山田浩久編著 (2021) 『地図でみる山形——市街地に刻まれた出羽の歴史』海青社。

(32長井市, 33南陽市, 35川西町, 36小国町, 37白鷹町の一部を担当)

(2) 研究成果 (論文)

本多広樹 (2020) スマートシティ政策を通じた先端技術普及における地域のユーザーの役割—横浜市を事例として—。都市地理学, 15, 59-75。

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

本多広樹 (2020) 第13回東北地理学会研究奨励賞 (長谷川賞)

(5) 教育, 地域連携等の活動

【教育】

担当授業:(学部) 地域政策論1,2, 地域政策論演習, 専門基礎演習, 総合講座I (第9回), 基盤共通教育科目基幹科目「地域の人間活動を考える (人間を考える)」, 卒業論文 (7名)

(大学院) 地域政策学特論I, 地域政策学特別演習, 調査の方法

【地域連携等】

2020年10月 山形県立東桜学館高等学校 探求型学習アドバイザー

2021年2月 長井市致芳コミュニティセンター館報 館報ちほう第136号「長井紬の魅力に迫る！
～山大生による研究報告～」のフィールドワークに関する調整, 引率, 調査指導等

(6) 研究・教育活動に関するコメント

COVID-19の流行下ではあるものの, 地域と関わる活動を可能な範囲で継続していきたいと考えている。

松本 邦彦

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動

◇専門教育

「日本外交論1,2」(前期/後期)

※基盤教育) 教養科目の「政治学」と同時開講。

「市民社会論」(前期)

「日本政治論」(後期)

「日本外交論演習」(通年)

「公共政策・地域課題実践演習A 2」(前期/川村一義先生と担当)

※「実践演習A 2」では学生に市民団体での実習をおこなってもらい, 授業の一環として市民団体と学生との交流会も4回おこなうものですが, 2020年度は新型コロナ禍のため実習および交流会をとりやめ, 学生には調査レポートを課すのみとしました。

◇社会連携 (高大連携)

- 2020年9月に高校生からのオンライン個別相談に対応。
- 2020年10月に夢ナビライブ2020仙台会場にオンライン参加。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

昨年から継続の宮城県議会, 仙台市議会, 東京都議会の議事録収集と整理を進めています。出張しての聞き取りや閲覧に少々苦慮しました。

松本 雄一

(1) 研究成果 (著書)

Prehistoric Settlement Patterns in the Upper Huallaga Basin, Peru (Volume 95) (Yale University Publications in Anthropology)

Yuichi Matsumoto

The Yale Peabody Museum 2020年8月25日 (ISBN: 0913516317)

(2) 研究成果 (論文)

ペルー南海岸, エストゥディアンテ遺跡調査概報

松本雄一, ホルヘ・オラーノ, 坂井正人

古代アメリカ (23) 91-102 2020年12月

アンデス文明形成期研究に見る在地性の問題—チャビン問題の学史的考察より—

松本雄一

人類学研究所 研究論集 (9) 94-113 2020年 4 月

(3) 研究成果 (学会発表)

El Periodo Formativo en Ayacucho: una perspectiva a partir del centro ceremonial de Campanayuc Rumi

Yuri Igor, Cavero Palomino, Yuichi Matsumoto

Coordinadora Nacional de Estudiantes de Arqueología (Conadea) "El Formativo en los Andes Centrales" 2021年 3 月 6 日

Reconsidering the Middle Horizon in the Ingenio Valley, South Coast of Peru

Yuichi Matsumoto, Jorge Olano, Masato Sakai

Nasca: Virtual Research Meeting 2021年 2 月21日

神殿居住域から見たチャビン現象: アンデス形成期における宗教的信仰拡散のメカニズム

松本雄一

出ユーラシア第四回全体会議 2021年 1 月10日

アンデス文明形成期におけ宗教芸術拡散のプロセス: チャビン現象にみる儀礼とアート

松本雄一

出ユーラシアの統合的人類史学 A02班 第5回 web セミナー 2020年12月19日

ペルー南海岸エストゥディアンテ遺跡発掘調査概報

松本雄一, ホルヘ・オラーノ・カナレス, 坂井正人

古代アメリカ学会第25回研究大会 2020年12月 5 日

Rituales Religiosos en el Centro Ceremonial de Campanayuc Rumi

Yuri Cavero, Yuichi Matsumoto

VII COngreso Nacional de Arqueología 2020年10月21日 招待有り

ペルー中南部の形成期 —チャビン, 周縁, 相互作用圏—

松本雄一

アンデス文明研究会 2020年10月17日 招待有り

在地伝統とワカ化の問題: 中央高地南部の形成期神殿カンパヌック・ルミにおける後期中間期
チャンカ文化

松本雄一

基盤研究 (A) 「社会的記憶の観点からみたアンデス文明史の再構築」基盤研究 (B) 「総合資料
学にもとづく古代アンデス文明の社会統合の解明」2020年度第1回合同研究会 2020年 8 月28日

(4) 研究成果 (その他)

国家と社会組織

松本雄一

ラテンアメリカ文化辞典 46-47 2021年1月

儀礼行為へのアプローチ

松本雄一

ラテンアメリカ文化辞典 38-39 2021年1月

- (5) 教育, 地域連携等の活動
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

丸山 政己

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)
- (5) 教育, 地域連携等の活動
 - ・担当科目:国際法1・2, 国際人権法, 国際法演習, 専門基礎演習, グローバル・プロブレマティーク基礎演習d, 総合講座II (1回分を担当),
 - ・学内委員: 高大連携委員会 (副委員長), 研究科運営委員会委員 (入試部会)
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

コロナ禍による教育や高大連携, 大学院入試の対応に追われて十分な研究活動を行うことができなかった。安達峰一郎書簡集の編集作業, 最上敏樹早稲田大学教授の古稀記念論文集 (洋書として刊行予定) に寄稿する論文, 国際法外交雑誌の COVID-19特集に寄稿する論文などに取り組んだが, いずれも次年度以降の刊行になりそうである。

森岡 卓司

- (1) 研究成果 (著書)
 - [共編著] 日本比較文学会東北支部編『問題としての「アメリカ」 比較文学・比較文化の視点から』晃洋書房 2020 (令和2)年8月 編集担当 (共編)・収録論文 (単著)「ふたつの名前を持つ映画についてー谷崎潤一郎『人面疽』論」(p62~ p75), (伊藤豊と共著)「「アメリカ」という問題群ーあとがきに代えて」(p186~ p197)
 - [共編著] 石澤靖典・森岡卓司編『大正・昭和期における東北の写真文化』(山形大学人文社会科学部叢書13) 山形大学人文社会科学部附属映像文化研究所 2021 (令和3)年3月 編集担当 (共編)・収録論文 (単著)「一九六〇年代の〈東北〉表象と石坂洋次郎編『詩・文・写真集 津軽』」(p243~ p270), (単著)「あとがき」(p271~ p272)
- (2) 研究成果 (論文)

なし
- (3) 研究成果 (学会発表)
 - [口頭発表 単独]「1960年前後の〈東北〉表象と石坂洋次郎編『津軽』」日本比較文学会2020年度東北大会 2020 (令和2)年11月29日 盛岡地域交流センター

(4) 研究成果 (その他)

[事典項目執筆] 「踊子ノラ」「夕雨子」「私の踊子物語」／秋山駿 原善 原田桂 編『三浦哲郎全作品研究事典』鼎書房 2020 (令和2) 年8月 p44～p45, p248～p249, p273

[書評] 長岡弘樹『緋色の残響』／『山形新聞』2020 (令和2) 年5月10日

[書評] 楠原彰『野の詩人 真壁仁 その表現と生活と実践と』／『山形新聞』2020 (令和2) 年7月19日

[書評] 千葉俊二『谷崎潤一郎 性慾と文学』／『図書新聞』2020 (令和2) 年11月14日

[書評] 【味読 郷土の本】万理小路譲『詩というテキスト3 言の葉の彼方へ』／『山形新聞』2020 (令和2) 年11月25日

(5) 教育, 地域連携等の活動

[出張講義] 上山明新館高等学校 2020 (令和2) 年8月3日 オンライン

(6) 研究・教育活動に関するコメント

公表できない仕事で多忙な1年でした。

諸田 博昭

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

Hiroaki Morota, "Chinese Currency Circulation and Credit Order in the Interwar Period", in Chi Cheung CHOI, Keng We KOH, and Tomoko SHIROYAMA (eds.), *The strenuous Decades: Global Challenges and the Transformation of Chinese Societies in Asia.*, Mouton de Gruyter, 2022.

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

安田 均

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「労働の同質性の抽出」経済理論学会『季刊経済理論』第57巻第3号 (2020.10)

(3) 研究成果 (学会発表)

「可変資本概念の変質」第46回仙台経済学研究会 (2020.08.22, 東北大学, Zoom 形式)

「可変資本概念の空洞化」SGCIME 春期研究会 (2021.03.28, Zoom 形式)

「『グローバル資本主義の変容と労働』の論点」同上 (2021.03.29, Zoom 形式)

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 教育

経済原論1, 同2, 市場と組織, 地域社会論, 労働と生活, 経済原論演習, 1年次アドバイザー

• 社会連携

オープンキャンパス（コース代表として経済・ま年次面とコーチームで参加）チームで参加
2020.08.22)

夢ナビライブ大学別説明ブースにコース代表として参加（2020.10.25, Zoom 形式）

高齢・障害・求職者雇用支援機構山形市部運営協議会議長（2020.07.21, 2021.03.08）

「経済指標の解説」連合山形『2021春季生活闘争方針』（春闘パンフレット）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

社会連携も時間の許す限り参加貢献したい。

山口 昌樹

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

山口昌樹, 「公的金準備の増加と国際通貨ドルの変調」, 『山形大学大学院社会文化システム紀要』,
第17号, pp.81-94

(3) 研究成果（学会発表）

山口昌樹, 「公的金準備の増加と国際通貨ドルの変調」, 日本金融学会2020年春期大会, 中央大学,
2020年5月

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育, 地域連携等の活動

教育

担当授業: 基盤教育・基幹科目, 金融論, 国際金融論, 国際金融論演習, 国際金融論特論, 国際
金融論特別演習, 国際経済法務特別研究

出前講義

新庄南高校, 「やさしい投資の話」, 2020年12月9日

(6) 研究・教育活動に関するコメント

オンライン講義の準備に追われた1年でした。なんとか終わることができて安堵しています。

山崎 彰

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

• Die Einführung der Fruchtwechselwirtschaft durch Friedrich August Ludwig von der Marwitz, in:
Jahrbuch für Brandenburgische Geschichte 71 (2020)

• 「18・19世紀ブランデンブルクの低湿地開発と土地利用—レカーン領農場を事例に一」『歴史
と経済』248 (2020)

(3) 研究成果（学会発表）

(4) 研究成果（その他）

(5) 教育, 地域連携等の活動

• 基盤教育

（教養教育）「ヨーロッパ史について考える—文学との対話」

・専門教育

「ヨーロッパ史概論」「ヨーロッパ史特殊講義」「ヨーロッパ史演習」「専門英語演習 (歴史学)」「教職実践演習 (社会)」「卒業論文」

(6) 研究・教育活動に関するコメント

山田 浩久

(1) 研究成果 (著書)

山田浩久編著 (2021) 『地図でみる山形』, 海青社。

(2) 研究成果 (論文)

山田浩久 (2020) 山形県におけるインバウンド観光の近年の動向。ほくとう総研, N E T T ,108,24-27。(招待論文)

山田浩久 (2020) 東日本大震災の被災地における居住地移動と市街地再編との関係 - 東北地方の被災県に着目して -。季刊地理学 ,72-2,71-90。(査読あり)

山田浩久他 (2020) Post COVID-19に向けた東北の観光戦略。経済地理学年報 ,66-3,15-25。(査読あり)

山田浩久・佐川美佳 (2021) 児童の安全・安心を考える保護者の空間リスク認知の重要性 - 山形市立第五小学校を事例にして -。山形大学人文社会科学部研究年報 ,18,193-204。(査読なし)

山田浩久 (2021) 天童市田麦野地区。令和2年度地域づくり活動調査研究事業 地域実態調査研究報告書。(査読なし)

(3) 研究成果 (学会発表)

山田浩久: Post-COVID19に向けた東北の観光戦略。経済地理学会北東支部例会(オンライン),2020年8月。

山田浩久: 東北6県に対する旅行行動の特徴と山形県の動向。経済地理学会北東支部例会(オンライン),2020年8月。

山田浩久: Post-COVID19に向けて観光政策の転換を迫られる地方県の実情 - 山形県を事例にして -。日本地理学会(オンライン),2020年10月。

山田浩久: RESAS を活用した政策立案の現状と課題。東京大学地域未来社会連携研究機構シンポジウム ,2021年2月。

(4) 研究成果 (その他)

(5) 教育, 地域連携等の活動

担当授業

学部教育

- ・人文地理学概論, 地域構造論, 地誌学, 地域構造論演習, 都市地理学調査実習, ツーリズム産業論, 総合講座1, 地域課題実践演習 A

大学院教育

- ・都市計画特論, 都市計画特別演習

高等学校への出張講義

- ・上山明新館高等学校 (演題: 上山市のまちづくり)

きらやかマネジメントスクール

- ・地域資源活用

自治体職員講習

- ・山形県職員研修講師

学外の審議会、委員会

- ・国土交通省東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会議長
- ・山形市中心市街地活性化戦略本部部員
- ・山形市都市計画マスタープラン見直しに係る研究会委員
- ・山形市にぎわい拠点整備事業審査委員会委員長
- ・山辺町総合戦略有識者会議議長
- ・長井市まちづくり基金審査委員会委員
- ・山形県立上山明新館高等学校学校評議委員
- ・日本地理学会代議員
- ・経済地理学会北東支部支部幹事
- ・東北地理学会編集委員会委員

(6) 研究・教育活動に関するコメント

令和元年度に終了した科研費挑戦的萌芽研究（課題番号：16K13295, 研究代表者：山田浩久）の研究結果を論文にまとめ公表した。また、平成30年度に採用された科研費基盤研究（B）（課題番号：18H03457, 研究代表者：山田浩久）は、同科研3年目のフェーズに入ったが、COVID-19の感染拡大によって海外調査が一切できず、研究が大きく遅れた。急遽、「COVID-19の感染拡大が国内観光関連産業にもたらす影響」というテーマを研究活動に組み、研究会で今後の方向性を議論したが、今後さらなる修正が必要になることが予想される。自らの研究に関しては、山形のフィールドワークで蓄積した資料をまとめて、書籍を公刊することができた。地域貢献活動、大学教育に役立てていく予定である。

地域連携に関しては、国土交通省の東北ブロック地理空間情報産学官地域連携協議会の座長を務め、地理空間情報の新たな活用方法に関する議論を東北六県の自治体と共に進めた（令和2年度はオンライン）。また、山形市の中心市街地活性化基本計画、山辺町の総合戦略に関わる議論にも有識者として参画し、研究成果を行政施策に反映されることができた。こうした活動は学生教育にも活かされ、最新の話題を学生に伝える授業を行うことができている。

山本 睦

(1) 研究成果（著書）

(2) 研究成果（論文）

山本睦, ファン・パブロ・バルガス, オスカル・アリアス, 門叶冬樹

2020「エクアドル南部山地の発掘調査－セロ・ナリオ遺跡, ロマ・デ・ピンシュル遺跡, エル・ボスケ遺跡－」『古代アメリカ』23:79-90. 古代アメリカ学会。

(3) 研究成果（学会発表）

Atsushi Yamamoto and Jorge Olano

2021 “Ventilla: Ceremonial Center in the Ingenio Valley”, Nasca: Virtual Symposium, Yamagata University, University of Texas and Northern Arizona University, 2021年3月14日。山本睦, ファン・パブロ・バルガス, オスカル・アリアス

2020「ペルー北部とエクアドル南部における形成期の編年と地域間交流」, 第25回古代アメリカ学会研究大会。金沢大学。(口頭発表)。12月5日。

(4) 研究成果 (その他)

山本睦

2021「久しぶりにあじわうはじめての調査」『Chaski』61-62: 9-12。

アンデス文明研究会。

2021「古代アメリカの交易」ラテンアメリカ文化事典編集委員会編『ラテンアメリカ文化事典』p.48-49。丸善出版。

2021「中間領域の諸文明」ラテンアメリカ文化事典編集委員会編『ラテンアメリカ文化事典』p.58-59。丸善出版。

2021「トウモロコシ」野林厚志編『世界の食文化百科事典』p.40-41。丸善出版。

(5) 教育, 地域連携等の活動

(6) 研究・教育活動に関するコメント

海外での調査を実施することはできなかったが、「神殿をめぐる活動と地域間交流の相関からみたアンデス文明形成期の社会動態」(科学研究費補助金17H04778), 「人工的環境の構築と時空間認知の発達」(科学研究費補助金19H05732), 「人工知能を利用した世界遺産ナスカの地上絵研究」(科学研究費補助金20H00041)によって, これまでの研究データを整理・分析し, 議論の精緻化に努めた。また, これらの研究成果を, 論文や学会, シンポジウムなどを通じて発表した。

今後は研究の成果をより積極的に, 教育や地域連携へといかしていくつもりである。

吉原 元子

(1) 研究成果 (著書)

(2) 研究成果 (論文)

「中小企業組合による SDGs の実践」山形県経済社会研究所『山形県の社会経済・2020年』第33号, 2020年12月

(3) 研究成果 (学会発表)

(4) 研究成果 (その他)

「繊維業界×中小企業者 (連載全3回)」全国中小企業団体中央会『中小企業と組合』1~3月号, 2021年1~3月

「官公需共同受注を通じた中小企業の経営安定化」全国中小企業団体中央会『令和2年度中小企業組合白書』2020年10月

(5) 教育, 地域連携等の活動

[教育]

中小企業論 a・b, 中小企業論演習, 企業課題解決型実践演習 a (コヤマ), 企業課題解決型実践演習 a (トヨタカローラ), 山形から考える地域産業 (山形から考える), 中小企業論特論, 中

小企業論特別演習，特別研究

[地域連携等]

山形県国民健康保険運営協議会委員，山形県建築審査会委員，山形県農業・農村政策審議会委員，山形県ベストアグリ賞表彰事業審査員，全国中小企業団体中央会組合資料収集加工事業調査研究委員会委員，山形県中小企業団体中央会取引力強化推進事業に係る選考委員，一般財団法人商工総合研究所中小企業組織活動懸賞レポート審査委員，公正取引委員会独占禁止政策協力委員，きらやか銀行新規事業進出支援研修会講師（7月），長井高校探求学習指導（8月），山形東高校郷土山形企業等研修講師（10月），NHK「やまコレ」出演（4月），YBC「やまがたサンデー5」取材協力（10月）

(6) 研究・教育活動に関するコメント

村山総合支庁から新たに「働いてよし，暮らしてよし村山の企業情報発信事業」を受託し，本多広樹先生にご協力いただきながら県内企業20社の取材記事118本をインスタグラムに掲載した。コロナ禍であったが無事実施できてよかった。

Stephen Ryan

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

• 担当授業：

（基盤教育）総合英語，コミュニケーション英語，

（専門教育）英作文（上級）英語コミュニケーション（上級）

（大学院）現代外国語（英語）異文化間コミュニケーション論特論Ⅰ・Ⅱ（英語）

卒業論文指導（written in English / Intercultural Communication themes）

山形大学カーボンニュートラル研究センターの会員

非常勤講師：山形県立保健医療大学

Research interest:

1. Intercultural Communication from a psychological perspective:
 - a) culture based miscommunication, schema, cultural bias affecting decision making and behavior

渡辺 文生

- (1) 研究成果（著書）
- (2) 研究成果（論文）
- (3) 研究成果（学会発表）
- (4) 研究成果（その他）
- (5) 教育，地域連携等の活動

担当授業は、日本語学基礎演習 a, 日本語文法特殊講義 a, 日本語文法演習 (前期), 日本語 b, 日本語文法演習 (後期), 日本語文法概論, 日本語文化論, 卒論演習1, 卒論演習2 《以上学部専門科目》, 教育実践演習 (中学校・高校) 国語 《以上教職科目》, 社会文化システム特論, 日本語意味論特論Ⅱ, 日本語意味論特別演習, 言語科学特別研究Ⅱ 《以上大学院科目》, 言語コミュニケーションのストラテジー (人間を考える), 日本語上級2 「書く」 《以上基盤教育科目》。地域貢献等の活動としては、社会文化創造研究科説明会 (2020.09.25) を行った。

(6) 研究・教育活動に関するコメント

研究活動については、研究代表者として関わる基盤 (C) の科学研究費プロジェクトの研究を中心行った。そのほか、1 件の科学研究費プロジェクトに研究分担者として従事した。教育活動については、学部の卒業論文5名の主指導・1名の副指導、および、大学院の修士論文1名の主指導・2名の副指導を行った。

渡辺 将尚

- (1) 研究成果 (著書)
- (2) 研究成果 (論文)
- (3) 研究成果 (学会発表)
- (4) 研究成果 (その他)

ドイツの歴史論争に関する研究によって付与されていた科学研究費補助金があったが、当該研究の根本にある国内外での資料収集が不可能であったため、成果を発表するまで研究を推進することはできなかった。しかし、これまでに収集した資料の読み直しを通じて、新たな事実を発見するに至っている。この成果を令和3年度中に何らかの形で発表できる見込みである。なお、当該科学研究費は、研究機関の延長を許可され、令和3年度末まで継続することができる。

- (5) 教育、地域連携等の活動
- (6) 研究・教育活動に関するコメント

「デジタル・ネイティブ」と言われる今の若者たちであるが、そうした機器を「使える」ことと、それを使って「問題なく学修できる / そうした学修を苦にしない」は全く別物であることに気づかされた。「デジタル化」を叫ぶことは簡単で、いかにも時代の先端を行っているかのようで格好良くも見えるが、自己の授業に関して、何を残し、何を効率化していくか、改めて考える機会を与えられた一年であったと思う。

